

実践研修のご案内

1.1 実践研修について

● 最近の実施テーマ

企業内研修は、受注の多品種少量化、短納期化、低価格化等の影響に対応するためのテーマ選択が顕著です。近年、ご要望の多い研修テーマは次の内容です。

実践研修は、通常の研修に 自社診断 又はゼミ活動を 付加した形式の 研修です。

[【研修のご案内】](#)

	単科研修	研修のセット化 (階層毎の研修セット)	実践研修(診断・ゼミ)のテーマ
①	課題解決・問題解消	課題解決・問題解消研修	経営戦略立案
②	QC の基礎	今後の生産体制整備研修	生産管理・組織管理の仕組み
③	IE 現場改善	原価・品質・現場改善	新生産システム (受注の変化対応)
④	ヒューマンエラー、ポカミス防止	ヒューマンエラー、ポカミス研修	原価管理、原価削減 (品質コスト)
⑤	原価管理、原価改善	機械化・自動化と人材育成・OJT	新製品・新事業

● 実践研修は、「診断研修」と「ゼミナール研修」の2種類をご用意しております。

意図するところは、次の二点です。

研修と実務・実践の直結

学習と応用により、考える力の醸成

「診断研修」

研修の時間の中で、講義・演習・自社診断演習・グループディスカッションを行います。

自社診断は、研修内容に基づくチェックシートや記入用紙などを使用して行います。

診断結果の内容について、グループディスカッションを行い、問題点などの改善計画などについて検討します。

「ゼミナール研修」

研修の時間では、講義・演習・ゼミを行います。(テーマによっては自社診断も行います)

初回ではゼミはなく宿題の説明を行います。二回目以降は、研修とゼミを行い、インターバルに行った宿題の結果について、ディスカッションと指導を行います。

最終回には、ゼミの成果として改善案や実施計画をまとめます。まとめ方等については講師がレクチャーします。

必要であれば、オプションで社内発表会を行う事が可能です。

お問い合わせにより ご提案をいたします。

診断研修の要領

研修は、講義・演習と自社診断の作業を行います。自社診断結果のグループディスカッションにより、改善検討を行います。

イベント	内容
研修	講義 考え方、方法、手順などを学習
	演習 演習や他社事例のケーススタディなどで、方法・手順等を習得
	自社診断 演習のひとつとして、チェックシート等による自社診断を行う 研修と演習の内容を参考にして、自社診断演習を行う 自社診断結果についてグループディスカッションでまとめる

© Seiji Tateiba 2019 Tokyo JP.

ゼミナール研修の要領

研修・ゼミとインターバルの作業を繰り返し、研修テーマの理解・実践・改善活動を確実にします。簡易的なコンサルティング支援になります。

イベント	内容
研修日	講義 考え方、方法、手順などの学習
	演習 演習や他社事例のケーススタディなどで、方法・手順等を習得
	ゼミ 研修内容に基づく研究課題の選定・ディスカッション・指導など
インターバル	(宿題) ゼミ内容の調査・研究 (まとめ) 案・計画の作成、報告書・提案書作成
社内発表	オプションで、社内発表会の開催が可能です。まとめた計画等を社員に発表し、実行の協力を促します。発表することで受講者の理解が深まります。

© Seiji Tateiba 2019 Tokyo JP.

※ お会社の年度末には、経営戦略・計画立案の実践研修で、実際に会社の経営計画・設備計画・人材計画等を立案されることがあります。計画実現のために、経営課題のテーマの研修をセットで実施すると、より効果的です。

1.2 実践研修のセット化

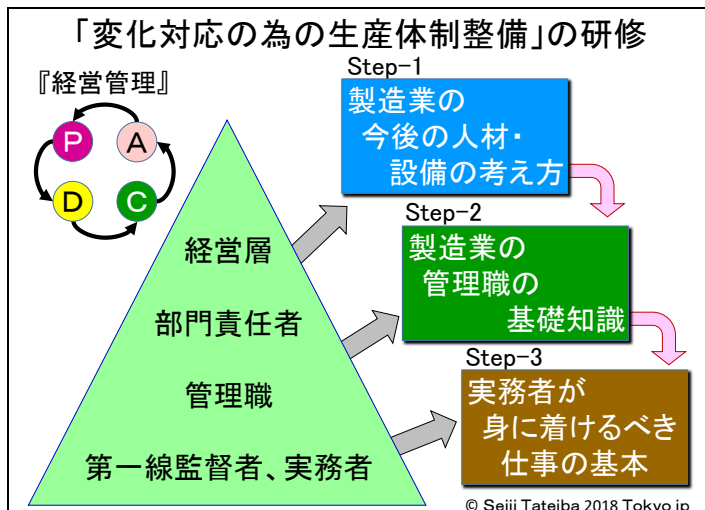
会社は各階層や各部門で役割分担して実務の運用を行っています。

その為 本来は、経営層が管理層に指導・教育する、管理層が実務層に指導・教育することが理想です。

新しい考え方・方法・仕組みの導入は、方向性を明確にし、一連の研修を階層ごと実施したり、各部門で研修テーマを分担して体系的に受講する事が効果的であると思われます。

お問合せをいただければ、お勧めの研修をセット化してご提案することが可能です。

【研修のセット化】



1.3 研修セット化の例

【研修のご案内】 **【お問合せ】**

パターン(1) 課題解決・問題解消研修シリーズ

Step-1 「経営課題・問題の解決・管理」	【ゼミ研修】	→ 発表会	経営層向け研修
Step-2 「課題解決、問題解消、管理の基本」	【診断研修】		管理者研修（工場長・管理職）
Step-3 「製造現場の問題解消」			指導監督者研修（係長、現場リーダー）

パターン(2) 機械化・自動化と人材育成

Step-1 「製品戦略と知的資本経営」	【ゼミ研修】	経営層実践研修（経営層、工場長）
Step-2 「機械化・自動化・スマート化と人材育成」	【ゼミ研修】	経営層・管理者研修（経営層、工場長、課長）
Step-3 「人材育成・技術技能伝承システム」	【ゼミ研修】	管理者研修（工場長・管理職）
Step-4 「現場力を高める OJT」		管理職・指導監督者研修（課長、係長）

パターン(3) 今後の生産体制整備研修シリーズ

Step-1 「今後の人材・設備の考え方」	【ゼミ研修】	→ 発表会	経営層・管理者研修（経営層、工場長、課長）
Step-2 「管理職の基礎知識」	【診断研修】		管理者研修（工場長・管理職）
Step-3 「実務者が身に着けるべき仕事の基本」			管理職・指導監督者研修（課長、係長）

※ お会社の事情や意図に応じて、研修をご自由に組み合わせさせていただいて結構です。ご相談いただければ対応いたします。

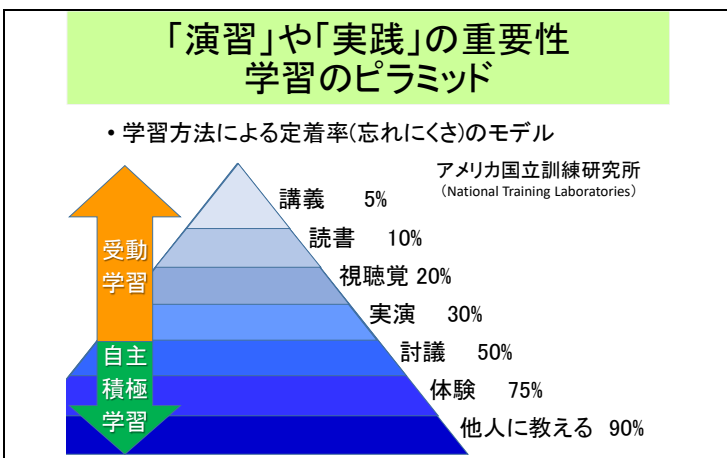
1.4 実践研修の期待効果

実践研修は、研修内容を自社に应用・実践することを前提としているため、通常の研修受講とくらべ人材の学習効果と実務上の改善定着などに大きな利点があります。

研修と実務の直結

学習と応用により考える力の醸成

- ・・・により、人材育成効果と改善効果がえられます。
- ・研修のより深い理解と学習内容の定着化
- ・チームワーク、組織管理力の向上
- ・実践力の向上による実務の成果 …… など



株式会社IMEコンサルティング
東京都大田区蒲田

お問合せ、ご相談等は、弊社ホームページのお問合せよりご連絡ください。

【お問合せ】